第７９回　山形県連合小学校長会研究協議会

≪大会主題≫

自ら未来を拓き　ともに生きる豊かな社会を創る

　日本人の育成を目指す小学校教育の推進

～ウェルビーイングを目指し、一人ひとりが可能性に挑戦する学校経営の推進～

≪趣旨≫

　山形県連合小学校長会は、全国連合校長会研究協議会を受け、令和３年度より大会主題を「自ら未来を拓き　ともに生きる豊かな社会を創る　日本人の育成を目指す小学校教育の推進」に改め、その実現を目指している。私たちは、これまでの研究と実践の成果を踏まえながら、社会の要請に応えられる教育の推進を引き続き図っていかなければならない。

　これまで私たちは、東日本大震災とそれに伴う原子力発電事故からの復興の中で、「絆」の重要性と自他の「いのち」や「生き方」について深く考え、人々がつながることへの思いを共有してきた。

現在は、国際平和のゆらぎ、地球環境問題、DXによる社会構造の変化、急速に進む少子高齢化に伴う人口減少、価値の多様化、地域コミュニティの弱体化など未知の課題にあふれ、未来は予測困難な状況である。さらに、豪雨災害からの復旧・復興、そして、巨大地震や激甚化する自然災害への備えも急務である。地球規模での温暖化は着実に進行しており、持続可能な社会への意識変革も始まっている。

　このような中、我が国の教育政策においては、持続可能な社会の創り手の育成、日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上という2つのコンセプトが示された。私たち校長は、子どもたちのウェルビーイングの向上を目指し、それを支える教職員のウェルビーイングを実現する活力あふれる学校経営に挑戦していく必要がある。

本協議会は、第７次山形県教育振興計画の基本目標「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」の実現に向け、山形らしい教育をより推進していく。また、働き方改革や世代交代、学校統廃合等の課題に直面する中、学校の経営者として不易と流行を見極め、自分事としてチャレンジする子どもの育成に努めることとする。

　大会の運営にあたっては、これまでの分科会協議を柱とした研究協議会のもち方を継承するとともに、今年度開催される全国連合小学校長会議福岡大会の分科会構成も見据えながら、５分科会構成による運営充実に努め、これからの学校教育と校長の果たすべき責務について明らかにしていく。